

委員会規約

(目的)

第1条 この規約は、本法人の定款第36条に基づき、各委員会の目的、構成、運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第2条 次の各委員会は次の任務を有する。

- (1) 総務委員会は、理事会の諮問に応じて、次の事項を行う。
 - ア 定款に関する事務
 - イ 予算及び事業計画の立案
 - ウ 総会の運営
 - エ 本法人の会員募集及び本法人の広報宣伝活動に関する企画、立案、実施
- (2) 論文委員会は、理事会の諮問に応じて、次の事項を行う。
 - ア 会誌に掲載する原著論文に関し、投稿規定、査読規定等を定める。
 - イ 投稿された論文の査読及び論文集の編集
- (3) 会誌委員会は、理事会の諮問に応じて、次の事項を行う。
 - ア 会誌の編集、発行に関する事務
 - イ 論文委員会が行う任務を除くすべての会誌発行に関する業務
 - ウ 会誌に関する企画、立案および実施
- (4) 学術研究委員会は、理事会の諮問に応じて、次の事項を行う。
 - ア 調査、研究、出版その他の活動の企画及び実施に関する業務
 - イ 全国レベルの講演会、研修会及び見学会等の企画、運営

ウ 日本学術会議、その他の学術団体との交流、対外活動

(5) 特別委員会は、本法人の目的に照らして必要であると認める場合に限り、理事会が設置し、理事会の諮問に応じて特別の業務を行う。

(委員)

第3条 各委員会の委員は、正会員の中から理事会が選任し、会長が委嘱する。

2 各委員会の委員は、20名以内とする。

3 理事は、いずれかの委員会に所属し、それぞれの活動の中心的な役割を担う。

4 委員の任期は、1期2年とし、再任を妨げない。

5 委員は、任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(委員長)

第4条 各委員会には、委員長1名、又必要に応じて副委員長2名以内を置く。

2 委員長は、各委員会の委員の中から、各委員会の了承を受けた上で理事会が選任し、会長が委嘱する。

3 副委員長は委員長が指名する。

4 委員長は、各委員会の会務を統括し、副委員長は、委員長に事故があるときにはその職務を代行する。

(報告)

第5条 各委員会の委員長は、各委員会の任務の状況に関して、文書をもって理事会に逐次報告するとともに、理事会の要請のあるときは、理事会に出席して任務の状況を説明しなければならない。

附則

1 本規約に基づく施行に関し必要な事項は、理事会の議決に基づいて別に定めることができる。

2 本規約は、平成23年4月1日から施行する。